



社会医療法人協和会 社会福祉法人大協会 連携広報誌



# むつごろう

Vol.110  
冬号



特集

## 内科

二院間の連携強化で  
診療領域の拡大を

もくじ

### 特集

● 理事長メッセージ ..... 1〜2

3〜7

● 健やか献立・季節のレシピ  
鶏つくねと白菜の豆乳クリーム煮

8

● 社会医療法人  
協和会ニュース

医療安全管理室No.8

8

● 大協会便り

社会福祉法人大協会ハートフルかのう  
デイサービスセンターのご紹介

9

● 連携医療機関紹介

医療法人佐藤内科クリニック

10

● 各科診療医一覧表



ご自由にお持ち帰りください



# 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。私事でございますが、昨年は令和年度のスタートに際し、10月22日は皇居での即位礼正殿の儀、10月31日には饗宴の儀にお招きいただきという栄誉を賜り、令和時代を迎えました。

当グループも昭和28年8月に大阪市北区天六の地で加納医院として開院、昭和32年に加納病院へ、その後、北大阪病院、北大阪クリニックと昭和の時代に拡大し、平成の時代に老健ハートフルや社会福祉法人大協会等々、更なる発展を続け、令和の時代へと突入してまいりました。

令和の時代は、日本の医療介護全般において整理整頓の時代になると考えられます。我々ハートフルグループも、より内部の充実、また、地域での役割の明確化が求められるかと思えます。奇しくも診療科としてベースとなる内科にて、昨年10月より、4名の先生が赴任され、吉川昌平先生と岩井孝史先生を加納総合病院に、山元哲雄顧問と山本晃久先生を北大阪病院に迎え、内科をONETEAMとして更に充実することができました。

社会医療法人協和会  
理事長  
加納総合病院院長

加納 繁照

今年の干支の『庚子(かのえね)』は、新たな芽吹きと繁栄の始まりを意味すると言われています。新しいことを始めるのに適した年ということです。我々も新しい時代に対応すべく、全職員が一丸となって、地域密着型総合医療福祉グループとして、地域社会への貢献と更なる信頼を得られるよう邁進してまいります。よろしくお願いいたします。



## 地域医療構想のあり方

昨年9月、公立公的病院で再編統合の検討要とされた424病院が公表されましたが、調整会議の議論では、地方・へき地と都市部を分けて考えるべきであります。総人口が加速度的に減少する地方・へき地では民間病院の経営が成り立ちにくく、いかに公立病院を活用して地域医療を維持するかを考えなければなりません。そのなかで、どの市町村にも公立病院を置くことが可能なか、集約化しなくてよいのかの検討が必要であります。一方、これから高齢者が急増する都市部では、民間病院が急性期医療を積極的に支えているケースが多く、民間病院をいかに上手に活用するかが主眼となります。そもそも、人生100年時代の高齢者医療は、病院と在宅との間で小生が唱える「輪廻転『床』」を繰り返すのに必要とされるケアミックス型の地域密着型急性期病院が主体であり、まさしく民間病院が得意とする領域であります。

ここで最近、都市部での地域医療の崩壊を招きかねない公立病院の巨大病院化の動きを懸念します。莫大な税財源を投入して公立病院を再編統合し、大規模な公立病院を新設したり、実績の低い公立病院が機能を大幅に増強する将来計画を立てることによって、周囲の民間病院の患者が減ったり、職員が引き抜かれるといった経営ダメージを受ける事態が想定されます。もちろん、3次救急や癌治療、小児・周産期などの領域は集約化し、公立の大病院で担う方がよいケースもありますが、その規模や内容がどの程度であれば適切なのかは、調整会議で協議し、周囲の納得を得ることが必要であると考えます。

例えば、2県立病院を再編し、ダウンサイジングしたと称しながら元の病院より巨大化して生まれ変わった兵庫県の尼崎総合医療センターは、2017年度の収支報告では2億3千万円の黒字でしたが、実は28億6千万円の繰入金があり、実質的には約26億円の赤字となっています。同病院の繰入金は、2013年度の旧・2県立病院の合計金額の約1.5倍に増えており、毎年の赤字額は約3倍になっています。大阪府においては、これら のことを考慮して、大阪方式として病院間調整会議において、公立病院の繰入金の状況について、過去4年分の繰入金の状況、繰入金算定項目の明示を求められることとなりました。また、救急搬送受け入れ実績等の評価についても、その実績値だけでなく、実績値を各病院の急性期・高度急性期の病床数の合算で割った値とし、病床単位での実績数も評価の対象としました。

本来は民にできることは民に任せるのが基本であります。公立公的病院の再編に当たっては、将来の医療ニーズを鑑みて、病院規模の妥当性、周囲の病院に与える影響を十分に議論し、公立病院の無理な拡張による地域医療の崩壊を防止せねばなりません。

社会医療法人協和会 理事長 加納 繁照





# 二院間の連携強化で 診療領域の拡大を

## 特集 内科

### Special Talk 座談会

社会医療法人 協和会 加納総合病院

消化器内科 部長

**原直樹先生**

Naoki Hara M.D.

消化器内科 副部長

**吉川昌平先生**

Shohei Yoshikawa M.D., Ph.D.

消化器内科 医長

**岩井孝史先生**

Takashi Iwai M.D.

社会医療法人 協和会 北大阪病院

法人特別顧問

**山元哲雄先生**

Tetsuo Yamamoto M.D., Ph.D.

内科 部長

**山本晃久先生**

Teruhisa Yamamoto M.D., Ph.D.

連携を密に、内科疾患の診断・治療を行う  
 加納総合病院と北大阪病院。  
 昨年10月に医師を増員し、診療領域の拡大に  
 伴う新体制が組まれました。  
 今回は消化器内科部長の原直樹先生と新任  
 先生方にお集まりいただきました。

## ドクター増員による 受け入れ体制の強化

まず内科の新体制についてお聞かせください。

原先生：昨年10月、新たに4人の先生が赴任されました。吉川先生と岩井先生が加納総合病院に配属され、これまで在籍されていた先生方と共に日々の診療



に従事し、救急外来や検査の対応もさらに細やかになりました。

一方、北大阪病院は山元顧問と山本先生のお二人が配属となりました。北大阪病院にも急性期と回復期の病棟があり、受け入れた救急患者さまで治療が困難な場合は、医師数が多く急性期医療の対応や夜間の当直体制が充実している加納総合病院でバックアップするよう連携を密にしています。逆に、加納総合病院での治療が安定してきた患者さまを引き続き北大阪病院で受け入れる場合もあります。

山元先生：北大阪病院に赴任してまだ数カ月ですが、さまざまな病状の患者さまの対応が必要とされるため、専門の消化器内科だけでなく一般内科として診察しています。疾患の領域を

特定するのが難しい場合や、複数の内科系疾患の総合的な検査・治療が必要な患者さまは、加納総合病院に受け入れ対応していたので、心強くとても良好な関係性が築けています。  
 一般内科とはどのような疾患のことをいうのでしょうか？

山元先生：一般内科とは内科系疾患全般をいい、その中から消化器系や呼吸器系などの専門分野に分けられます。一般内科で診察し、専門医に診てもらふ必要があるかどうかを判断しなければいけない場合もあるので、広域な知識が必要な、いわばオーラルマイティーな分野。例えば、風邪で一般内科の診察を受け、肺炎の可能性があれば呼吸器内科の受診が必要になる。腹痛や胃痛で一般内科を訪れた場合も症状によっては消化器系疾患の恐れがあるということです。

北大阪病院の場合、私も山本先生も消化器内科が専門ですが、他領域の専門医の診察や検査が必要だと判断した場合は、加納総合病院との連携が可能です。  
 山本先生：北大阪病院の場合、一般内科での診察・検査の対応



が中心です。これまでは救急の受け入れが万全とは言えない面もありましたが、今後は加納総合病院の先生や提携する兵庫医科大学のサポートを受けながら、北大阪病院でも積極的に治療していくことが目標です。

岩井先生：私は吉川先生とともに北大阪病院の外来応援にも伺っています。一般内科でスピーディーに対応することは早期治療につながりますし、より多くの患者さまを診察することが自分自身にとっても貴重な経験となります。的確な診断で、専門治療が必要な患者さまは加納総合病院が積極的に受け入れられるように連携を図っていきたいと考えています。



## 同門だからこそ 強固な信頼関係

皆さん同じ大学医局のご出身  
だとお聞きしました。

原先生…全員同じ兵庫医科大学  
出身で、専攻も消化器内科です。  
山元顧問は私の元上司で、同じ  
病院で10年ほど一緒に内視鏡治

療に携わってきました。いわば「同  
じ釜の飯を食った」仲間です。

吉川先生…長年一緒に勤務して  
きた先生方ですので、得意領域  
や癖も理解しています。頼まれ  
たら断れない（笑）気心知れた  
関係性だからこそ、気負うこと  
なく、チームとしても結束力を  
感じます。

山元先生…病院間の連携といっ  
てもそれぞれの病院が担当患者  
の診察や治療に日々対応してい  
るので、なかなかスムーズにはい  
かないものです。電話一本連絡  
をすれば、可能な限りサポート  
してもらえます。強固な信頼関係  
がないと、このような迅速な対  
応は難しい。医師同士の関係性  
が大きく影響してくると思ってい  
ます。

近年、医局制度が見直されて  
おり、個人主義の医師が増えて  
きているといわれていますが、「同  
じ釜の飯を食った」同門の仲間  
が各地の病院に分かれて診察・  
治療を行なっている。そして助け  
合う。医療現場ではそういう関  
係性が非常に大事です。患者さ  
まにとつての安心感にもつながっ  
ているのではないのでしょうか。

## 超高齢社会を視野に 地域医療にも注力

赴任先でのポジション、今後の  
抱負を教えてください。

岩井先生…専門領域は消化器内  
科となりますが、加納総合病院  
と北大阪病院の両院で一般内科  
を担当しています。二院それぞ  
れの患者さまの対応状態を確認  
しながら連携を図り、より多く  
の患者さまの診察・治療をする  
ことで、地域医療に貢献してい  
きたいと考えています。

吉川先生…私も以前勤めていた  
病院では消化器内科、特に内視  
鏡の検査や治療を中心に担当し  
ていました。当院でも引き続き  
その分野に重点を置きながら、  
北大阪病院の外來もサポートし  
ています。北大阪病院で内視鏡  
治療や手術が必要な場合は、積  
極的に受け入れながら症例を増  
やしていきたいですね。加納総  
合病院で引き受けるだけでなく、  
こちらから北大阪病院に向し  
検査することで、より迅速な治  
療が可能になります。  
内科全体でいうと、消化器内  
科の医師は増員しましたが、呼



吸器系の専門医の力を借りたい  
と感じることもあります。より  
一層の治療領域拡大を図るため  
にも、さらなる増員について検  
討の余地があるかもしれません。  
原先生…専門分野に関しては、  
専門医に託すことができれば、  
医師も患者さまも安心につな  
がります。風邪も呼吸器疾患。  
呼吸器内科は大きな部分を占め  
ているので今後の検討要素です。  
山本先生…北大阪病院の担当医  
として、患者さまからの信頼を

得ることが最も大切です。「北大阪病院に来てよかった」という声がいただけるよう常に意識して職務に就いています。

**慢性疾患を患った高齢患者さまが増えています。これからの医療にどのような影響を及ぼすでしょうか？**

**山元先生**… 高齢患者さまが増えれば、急性期医療の現場でも慢性疾患として認知症を抱える患者さまが増えることになるでしょう。領域を問わず、高齢者に起こりやすい疾患に対して理解を深め、十分なケアを提供できるようにしておく必要がある。しかし高齢化社会に伴って医療・介護ニーズが高まる一方、国の指導もあって、超急性期医療を選択する病院が増えてきています。大型病院では特に顕著で、在院

日数の短縮が行なわれているのが現状です。

高齢患者さまの対応は、病院側としてのリスクや問題点も多いのは事実。看護師や介護士の人員も多く必要になります。その点、協和会では地区医師会との長年の関係性を生かし、民間病院との連携にも注力してきましたので、これからの高齢患者対策にも地域間で協力して取り組んでいきたいと考えています。

**山本先生**… 北大阪病院には回復期のリハビリ病棟もあります。前期の病院でも経験はあるのですが、高齢者医療は固定されたパターンがなく、人それぞれ症状やその対応が異なります。しかし、一人で患者さまと向き合っているのではなくチーム医療なので、加納総合病院の先生方のサポートを受けながら、看護師やケースワーカーとともに、的確な診療を心掛けています。精神的なサポートもあり、とても恵まれた職場環境だと実感しています。

**最後に、協和会としての今後の展望をお聞かせください**

**原先生**… 一番重要なのは二院の連携強化です。同門出身なら

ではの強い信頼関係による連携で、タイムロスをなくしたスピーディーな治療が可能です。また医師を増員したことで、患者さまの受け入れ体制も改善できると考えていますし、消化器内科の医師が揃ったので専門性をアピールしていきたい。検査だけではなく内視鏡治療も積極的に進んでいます。内視鏡というと、以前は観察や組織検査が主でしたが、最近はポリープや早期癌などを切除する治療的内視鏡が普及し、切らないガン治療の推進などにも貢献しています。新たに加わっていただいた先生方には、これまでの医療技術や経験を当院で存分に生かしていただきたいと思っています。

有能な医師は揃いましたが、設備の見直しや技師の確保など更に高いレベルへの対応が必要な点はまだ残されています。地域医療を支える民間病院との連携も検討していかなければなりません。患者の皆さまが安心して診察・治療を受けていただけるように力を合わせて取り組んでまいります。

**たっくさんの良いお話をありがとうございました。**



プロフィール



社会医療法人 協和会 加納総合病院  
消化器内科 部長 原 直樹 先生

[所属学会および認定]

- ・日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
- ・日本消化器病学会 専門医・指導医・近畿支部評議員
- ・日本内科学会 認定内科医・指導医
- ・日本肝臓学会 認定肝臓専門医・指導医・西部会評議員
- ・兵庫医科大学 内科肝胆膵科非常勤講師



社会医療法人 協和会 北大阪病院  
法人特別顧問 山元 哲雄 先生

[所属学会および認定]

- ・日本内科学会 認定内科医
- ・日本肝臓学会 認定肝臓専門医・指導医
- ・日本消化器病学会 専門医・指導医
- ・日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医
- ・日本消化管学会 胃腸科指導医・胃腸科専門医
- ・日本医師会 認定産業医



社会医療法人 協和会  
加納総合病院 消化器内科  
副部長 吉川 昌平 先生

[所属学会および認定]

- ・日本内科学会 認定総合内科専門医
- ・日本内科学会 認定内科医
- ・日本消化器病学会 専門医
- ・日本消化器内視鏡学会 専門医
- ・日本肝臓学会 認定肝臓専門医・指導医
- ・日本超音波医学会 認定超音波 専門医
- ・日本消化管学会 胃腸科認定医・専門医
- ・PEG・在宅医療研究会 専門胃瘻造設者
- ・日本がん治療認定医機構 認定医
- ・ICD制度協議会 ICD(Infection Control Doctor)



社会医療法人 協和会  
加納総合病院 消化器内科  
医長 岩井 孝史 先生

[所属学会および認定]

- ・日本内科学会 認定内科医
- ・日本消化器病学会 専門医
- ・日本消化器内視鏡学会 専門医
- ・日本肝臓学会 認定肝臓専門医
- ・日本消化管学会 胃腸科認定医・専門医
- ・日本がん治療認定医機構 認定医
- ・日本ヘリコバクター学会 ピロリ菌(H.pylori) 感染症認定医
- ・PEG・在宅医療研究会 専門胃瘻造設者・管理者



社会医療法人 協和会  
北大阪病院 内科  
部長 山本 晃久 先生

[所属学会および認定]

- ・日本医師会 認定産業医
- ・日本医師会 認定健康スポーツ医

加納総合病院 内科 診察日

		月	水	木	金
午前	1診	9:00~12:45		原	岩井
	2診	9:00~12:45	原	吉川	
午後		14:00~16:45	吉川		
夜診		18:00~19:45	吉川	原	

北大阪病院 内科 診察日

		月	火	水	木	金
午前	9:00~13:00	山元		岩井	山本	
午後	14:00~17:00		山元	山本		
夜診	18:00~20:00	岩井				週代わり

# 鶏つくねと白菜の豆乳クリーム煮



## 材料(1人分)

A	・鶏ミンチ	60g
	・玉ねぎ	40g
	・しょうが	1g
	・酒	0.5g
	・パン粉	10g
	・塩	0.1g
	・こしょう	少々
	・白菜	100g
	・しめじ	20g
	・人参	20g
・プロッコリー	30g	
・無調整豆乳	50ml	
・クリームシチューの素	10g	
・コンソメ	1.5g	

## 作り方

① 白菜の白い部分は2cm程度のそぎ切りに、葉の部分は食べやすい大きさに切る。人参は薄めの短冊切り、しめじは石づきを切りほぐしておく。プロッコリーは小房に分け、少し硬めにゆでしておく。

② Aの材料を合わせよく混ぜる。直径2cmぐらいになるようスプーンでまるめてつくねを作り、コンソメ少々(分量外)を入れたお湯で3分ぐらい煮て取り出しておく。

③ 鍋に人参、豆乳、コンソメを入れて中火で煮込む。この時、煮立たせると豆乳が分離してしまうので注意する。

④ 人参が少し柔らかくなったたら白菜としめじを入れる。白菜から水分が出てきたらゆでておいたつくねを入れてさらに煮込む。

⑤ 全体に火が通ったら、一旦火を止め、クリームシチューの素を入れる。

⑥ 完全に溶かしてからもう一度火をつけ、とろみがついたら火を止める。

⑦ 最後にプロッコリーを入れてできあがり。

## ポイント

豆乳は低エネルギー、高たんぱく、低脂質で減量中におすすです。

旬の白菜はビタミン、ミネラルを含み食物繊維も豊富です。

野菜の中でもエネルギーが低めで、火を通すと甘みが増し、たっぷり食べることができます。塩分が気になる方はクリームシチューの素を少し減らし、粗びき胡椒をかけると美味しく減塩することができます。



1人前の栄養価 エネルギー: 255kcal タンパク質: 18.5g 脂質: 9.1g 塩分: 2.7g

北大阪病院 栄養科 管理栄養士 乾明日香

## 医療安全管理室 No.8

社会医療法人  
協和会ニユース

KYOWAKAI NEWS

### 医療安全標語 優秀作品のご紹介

WHOは、2019年総会において、9月17日を「世界患者安全の日」に制定しました。世界患者安全の日は患者安全を促進することへの人々の意識・関心を高め、国際的な理解を深めるとともに、加盟国間の連携や行動に取り組むことを目的としています。

当院では、今年も職員から医療安全標語を募集し、135作の応募がありました。優秀な作品をご紹介します。

1年間、この標語を心に留めて、思いやりで医療安全に努めてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

2 優秀賞  
形だけ うわべだけ  
そんなチェック  
やめらやいな  
手術室

2 優秀賞  
患者誤認  
してもされても  
命とり  
五病棟

1 最優秀賞  
間違いと  
見たらその場で即注意  
かける言葉は思いやり  
六病棟

### ● サービスのご紹介 ●

通所介護（デイサービス）とは、医療的な訓練を目的とした通所リハビリ（デイケアサービス）とは異なり、介護が必要な高齢の方々がセンターへ通い、入浴、排せつ、食事などの介護を受け、生活機能の維持・向上を目指したレクリエーション・運動（訓練）を日帰りで行います。閉じこもりなどの解消及び心身の機能の維持並びにご利用者の家族の負担軽減（息抜き）を図ることが目的のサービスです。



当デイサービスセンターは平成11年に開所し早20年が経過しました。北区及び都島区在住の多くの方々にご利用いただいています。今後も地域にお住まいの方々に対して、安心して自宅での生活を継続していただけるよう、在宅サービスを提供していきたいと思っております。

### ● 職員のご紹介 ●

#### ● 相談員 西川 和美

明るく、楽しく、安心できるデイサービスを目標に、利用者様一人一人に寄り添える相談員を目指しています。



#### ● 相談員 山内 雅子

産休・育休もきちんと取得でき、復帰後も周りの理解があり、やりがいのある職場で、利用者様と毎日明るく楽しく過ごしています。



#### ● 介護士 四辻 みなみ

スタッフ一番の若手として、常に新しい風を吹き込み刺激ある日々を過ごしていただけるようチャレンジしています。



#### ● 運転士 山崎 昌昭

ご自宅からセンターまで安全運転でお送りします。



〒531-0062  
大阪市北区長柄中1丁目1番21号  
TEL/06-6354-1108  
FAX/06-6354-1121  
HP/<http://www.daikyokai.or.jp/h-kanou/>  
営業日/月曜～金曜日：8:45～17:15

#### アクセス

地下鉄谷町線・堺筋線  
天神橋筋六丁目駅  
②番出口北へ徒歩3分



内科全般・消化器内科・  
肝臓内科・内視鏡内科

# 医療法人 佐藤内科クリニック



**医師／西出智博**  
日本内科学会 総合内科専門医  
日本消化器病学会 専門医 近畿支部評議員  
日本消化器内視鏡学会 専門医  
日本肝臓学会認定 肝臓専門医



**院長／佐藤公昭**  
日本内科学会 認定医  
日本消化器病学会 専門医  
日本消化器内視鏡学会 専門医  
日本肝臓学会認定 肝臓専門医  
日本ヘリコバクター学会 会員

## 連携 医療機関 紹介

加納総合病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最善の治療環境の実現を目指しています。  
このコーナーでは、当院の登録医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

### 患者さんを自分の親と 思い治療にあたりなさい

この言葉は医師である私の父の教えです。開業医をしていた父は、田舎ながらも外来患者、入院患者、そして往診患者と毎日多くの患者さんの診療にあたっていました。多忙だったため、あまり一緒に遊んだ記憶はありませんが、この言葉は今でも覚えています。

北里大学医学部を卒業後、郷里の福岡に戻り、いくつかの病院での研修を経て、福岡県済生会二日市病院消化器内科医長を務めました。多忙な日々を過ごす中、この父の言葉を思い出し、患者さんを自分の親と思い、最善の診察と治療を心掛けてきたつもりです。

縁あって大阪で開業し、6年ほど経ちました。入院が必要な患者さんは加納総合病院に受けていただいております。恵まれた環境だと思えます。しかしながら、病院勤務医の多忙な状況を何年も経験し、熟知していますので、逆に、我々のようなクリニックが病院勤務医の多忙さを軽減す

る役割を担っていると考えています。そのため、当院では病院と同じ採血検査システムを導入。さらに緊急内視鏡システムも構築しました。エコー検査がいつでも行えるように専門技師が常勤し、常勤医師2人体制に加え、内視鏡専門医を招聘して速やかな対応を可能にしました。現在1日平均180名(最多で250名)の患者さんを診ております。又近々分院もできる予定です。

「患者さんを自分の親として思え」「患者さんの訴えに真摯に耳を傾け、患者さんの病気を早期に発見し、早期に治療するためには、クリニックに必要なものは何か」と常に考えながら、日々努めております。どんな些細なことでもご遠慮なく、何なりとご相談ください。スタッフ一同、お役に立てるよう頑張ります。



内視鏡専門室



超音波エコー 血液検査機器



佐藤内科クリニック

〒530-0041  
大阪市北区天神橋4丁目6-14(天神橋筋4丁目商店街内)  
TEL/06-6353-3838

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	○	○	○	○	○	☆
15:00~19:00	○	○	○	休診	○	☆

胃カメラの予約はこちらでもできます。(電話予約もOK)



アクセス  
・JR環状線「天満」駅より徒歩3分(天神橋筋商店街を南に400m)  
・地下鉄堺筋線「扇町」駅から3番4番出口 徒歩1分

☆:土曜日の午前診は9:00~12:00  
☆:土曜日の午後診は14:00~18:00  
休診日 木曜午後・日曜・祝日



# 各科診療医一覧表

## 加納総合病院

科	診療時間	月	火	水	木	金	土	
内科	午前	1診 9:00~12:00	院長	久保田	酒井	原	岩井	徳山・酒井
		2診 12:00~12:45	酒井					
	午後	2診 9:00~12:45	久保田	森脇	原	吉川	滋野	湯口・岩崎
		3診 9:00~12:45	中川 ※糖尿	岸野	高嶋・笹川 ※糖尿	吉岡・中川 ※糖尿	中間	
	夜診 18:00~19:45	吉川・郡山	森脇	原・岸野	酒井・吉岡	高田・高嶋		
外科	午前	9:00~12:45	田中	OP	矢野	田中	矢野	交代
	午後	14:00~16:45	向井	OP	矢野	向井	矢野	
	夜診	18:00~19:45		向井・田中				
整形外科	午前	1診 9:00~12:00	和田	森本	岡吉	羽山	和田	松山
		2診	納田	納田	下(予約)	下(予約)	松山	
	夜診	18:00~19:45	松山・和田	和田・松山	納田	羽山・糟谷	下	
脳神経外科	午前	1診 9:30~12:00	中澤	OP	黒田	安田	中澤	今村・井上(治)・藤・黒田・米田(交互)(予約)
		2診	麓(予約)		米田	麓(予約)		
循環器内科	午前	1診 9:00~12:00	谷浦	谷浦	谷浦	谷	谷	ハニカカニ
		2診						
	夜診	18:00~19:45	谷	坂田				

科	診療時間	月	火	水	木	金	土
神経内科	午前	9:00~12:00	権	権			望月
	午後	14:00~16:45				権	長野
	夜診	18:00~19:45			小河		
形成外科	午前	9:00~12:00	奥野	宇根	奥野	宇根・奥野(交互)(予約)	宇根
	午後	14:00~16:00	宇根	奥野	奥野	OP	宇根
眼科	午前	9:00~11:00	高橋(元)	高橋(彰)	高橋(元)	盛	高橋(元) 高橋(元)
	午後	14:00~15:00	高橋(元)	検査	OP	検査	検査
耳鼻咽喉科	午前	10:00~12:45		交代		交代	藤澤・鈴木
泌尿器科	午前	9:00~11:30	坂元	坂元	検査	坂元	坂元 検査
皮膚科	午前	9:00~12:00		古川			草壁
	午後	13:00~16:00	谷口				
婦人科	午前	9:00~11:30	堀江		堀江		堀江
小児科	午前	9:00~11:45		中倉		中倉	卜部・難波

※詳しくはホームページを参照ください。

令和元年12月1日時点

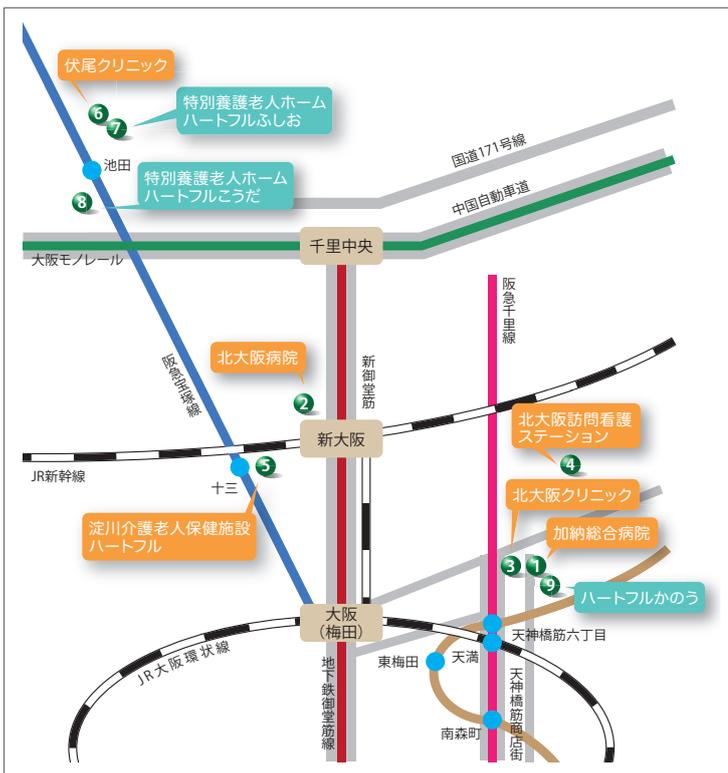
## 北大阪病院

科	診療時間	月	火	水	木	金	土		
内科	午前	9:00~13:00	山元	高嶋	岩井	山本	森脇	森脇・岸野 石井(週交代)	
	午後	14:00~17:00	田中	山元	山本	大川	石井(秀)		
	夜診	18:00~20:00	岩井	藤尾	霜野	大川	週代わり		
外科	午前	9:00~13:00	藤尾	藤尾	藤尾	藤尾	藤尾	藤尾	
	午後	14:00~17:00		※急患のみ受付					
	夜診	18:00~20:00		藤尾					
整形外科	午前	1診 9:00~13:00	目黒	岡村	目黒	安田(直)	目黒	高尾	
		2診	市場		池田		平井		
	午後	14:00~17:00	下		下		下		

科	診療時間	月	火	水	木	金	土	
脳神経外科	午前	9:00~13:00	安田(守)	安田(守)	安田(守)		佐藤	※不定期 安田(守)
	午後	14:00~17:00	※急患のみ受付	安田(守)		※急患のみ受付		
皮膚科	午後	15:30~16:30					高田	
循環器科	午前	9:00~13:00	岡田				西田	
	午後	14:00~17:00	田中				西田	
泌尿器科	午後	14:00~17:00			坂元			
リハビリ	午前	9:00~13:00	○	○	○	○	○	
	夜診	18:00~20:00	○		○		○	

※詳しくはホームページを参照ください。

令和元年12月1日時点



### 社会医療法人 協和会

- ① 加納総合病院  
〒531-0041 大阪市北区天神橋7-5-15 TEL.06-6351-5381(代)
- ② 北大阪病院  
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-7-17 TEL.06-6395-1601(代)
- ③ 北大阪クリニック  
〒531-0041 大阪市北区天神橋7-6-21 TEL.06-6351-2228(代)
- ④ 北大阪訪問看護ステーション  
〒531-0063 大阪市北区長柄東3-3-10 フローラルハイツ協和2階 TEL.06-6357-7893
- ⑤ 淀川介護老人保健施設 ハートフル  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東5-3-29 TEL.06-6302-8686
- ⑥ 伏尾クリニック  
〒563-0011 大阪府池田市伏尾町12-2 TEL.072-754-2838

### 社会福祉法人 大協会

- ⑦ 特別養護老人ホーム ハートフルふしお  
〒563-0011 大阪府池田市伏尾町12-1 TEL.072-754-2901(代)
- ⑧ 特別養護老人ホーム ハートフルこうだ  
〒563-0043 大阪府池田市神田2-6-7 TEL.072-750-0810(代)
- ⑨ ハートフルかのう  
〒531-0062 大阪市北区長柄中1-1-21 TEL.06-6354-1108(代)

### 編集後記

今年も一層誌面の充実を心掛けます。本年もよろしくお願いたします。